

主催 日出新聞社

後援 外務省・文部省

協賛 立命館大學

傳藝之士

西國多寡傳聞之傳說之學者

主催 九州日報社

後援 外務省・文部省

協賛 立命館大學

會場 岩田屋百貨店

偉勳を讃つて

西園寺公を傳ふ展覽会寫真書

九 州 日 報 社

主 催 讀 賣 新 聞 社

後 援 外 務 省・文 部 省

協 賛 立 命 館 大 學

會 場 岩 田 屋 百 貨 店

佐野喜久雄著
日本近世文學研究

きがは便郵



POST CARD

書葉繪會覽展ぶ公寺園西

十年後多白髮
舊主未逢年已老
惟有天涯客
幾生修得到梅園
立命館宋詩

地上風忙月清時
卧看雲影入玻璃
急向窗前已擡頭
萬玉雨三枝

陶成熙年
九十一

勅使西園寺殿御本營

王政復古御一新
山陰道鎮撫焉
御勅使

西園寺殿

御御使

御御使

御御使

御御使

御御使

御御使

御御使

御御使

札立陣本 殿寺園西使勅鎮道陰山
出雲 藤間精氏藏

山主壹有深意忘脚臂間整五
一藤上

倘與藤愛 爰外故
行於事

西園寺公爵近影



ひるく却て生竹林
塔の空向むと金環

次々

お叟幸の傍り了此後
蓮木はくと拂ふもとうに
豆十呂巻を探し自乍入
さくも香ひする記日を記つ
松の室と大の奥歩す
素性も誰も知る者無
山氣のありそく神官

。

乗の才をもと紳士とす

喰やされし御理も笑ふ外

都門のちよとづくめ

吉野をほじけ

シ捕ま、廿佛をすむの

今聞えみやげ色

侍授事なれどねがよ

びりか面白今般の出

見立つて足を歩な

少し相手の空のさう歎

沖縄。

本居宣長

文政

藏學大館命立

西園寺公連歌

卷之三

古人云怒心畫竹怒畫蘭

蓋我雪本強項因世媚

人所以寫蘭不必為也庶

然能主人以為名

醉陶



蘇氏門衛左吉友住 傑男

西園公寺筆 賛蘭畫

坐看雲起

西園公寺筆公額

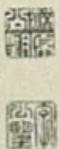
上池秀敵氏藏

大正乙卯春
陶復堂之印



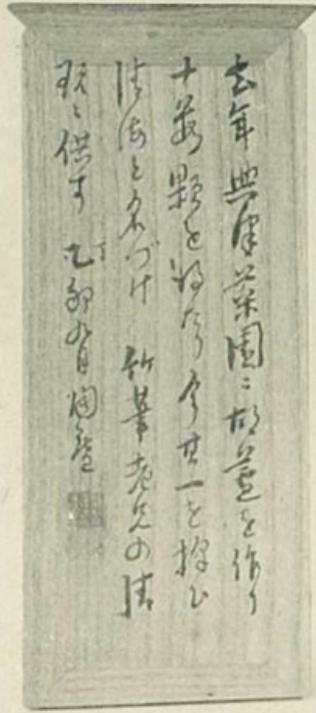
西園寺

明治二十五年壬
辰九月官侯函
圓寺公望書



藏寺國西 都京

額扁大名寺 菩提西園寺



西園寺公愛の玩物の瓶



西園寺公筆の輪挿

(歲一十九) 西園公筆

新雨初晴
閒室の移居
多幸事
快志元無所
得無求何所
尋之能到處
理生達於事

九十一

金



云向に山龜波丹公寺園西督總撫鎮陰山